



# はばたき 第6号

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。今学期も学校目標「自ら学び、心豊かで、健やかな子どもの育成」の実現を目指し教職員一同、力を尽くしていきたくと思います。2学期もよろしくお願いいたします。

さて、市内においては、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が連日数多く確認され、「まん延防止等重点措置」が9月12日まで適用されています。これまでより感染力が強いデルタ株が主流となった影響で、児童への感染拡大が懸念されるところです。昨日、お知らせの文書を配付しましたが、このような市内の感染状況を踏まえ、長崎市教育委員会と長崎市小学校校長会は、児童の感染拡大を防ぐために、全市的な児童の交流を伴う「小体会（長崎市小学校体育大会）」「小音会（長崎市小学校音楽会）」「交歓会（長崎市特別支援学級交歓会）」を中止することを決定しました。また、本校では9月26日（日）に予定していた「運動会」を10月に延期することにしました。（期日は検討中です）これらの行事を楽しみにしていた児童にとって残念な結果となってしまいましたが、児童を守るために必要な判断であったと思います。保護者の皆様にはご理解いただき、今後も本校の学校教育に対し、ご協力をいただきますようお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染防止の徹底（レベル3対応）

- <登校> 朝起きたら家で健康観察を実施してください。本人または同居家族に発熱や倦怠感、喉の痛みなどの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、登校を控え休ませてください。
- <手洗い> 教室に入るときには手を洗うようにしています。朝の登校時、休み時間など外から教室に入るとき、特別教室での授業の後、トイレの後などです。また、給食の前後にも手を洗います。手を洗うときは、せっけんを使用しています。
- <マスク> マスクは常時着用します。息苦しいときなど外したくなったときは、マスクを外してもかまいませんが、外した時は、しゃべらないように指導しています。マスクは必ず持たせてください。
- <換気> 教室の窓やドアは開けておきます。気温が高いときはエアコンを利用しますが、その場合も窓やドアを閉めずに、空気の入替えがあるようにします。
- <授業> 子どもが長時間密集して話し合うようなグループ活動は控えるようにしています。9月12日までは、音楽のリコーダー指導や身体の接触を伴う活動、家庭科の調理実習などは行いません。
- <消毒> 水道の蛇口、トイレのドアノブ、階段の手すりなど多くの子どもが触れるものや共用の学習用具は、毎日、子どもの下校後、教職員で消毒をします。

※ 本日配付した「ほけんだより」もあわせてお読みください。

## 東京オリンピック・パラリンピック

夏休み前半は「東京オリンピック」のテレビ観戦で時間を使われた保護者の方も多かったと思います。大会前の予想通り、素晴らしい成績を収められた選手もいれば、様々な理由で実力を発揮できず、悔しい思いをされた選手もいるようです。大会後テレビなどで、選手たちの後日談を伺うと、それぞれの選手一人一人にドラマがあり、感動するとともに多くのことを学ぶことができました。

昨年新型コロナウイルス感染症により1年延期が決まったとき、テニスの大坂なおみ選手がこんなことを言っていました。

「スポーツは人の心をつなぎ、感動を与えるパワーがあります。しかし、わたしたちがしなければならないことはスポーツを救うのではなく、世界中の人々が人権や国境の壁を越えて数多くの命を救うのが一番大切なことです。それこそがまさにオリンピック精神ではないでしょうか」

オリンピック憲章には、オリンピックの目的が書かれています。その一つを紹介します。

「スポーツをすることは人権の一つである。すべての個人はいかなる種類の差別を受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない」

大なおみさんの言葉やオリンピック憲章に書かれている「人権」とは、「だれもが差別を受けることなく生きる権利」のことで、「差別」とは、簡単に言うと「いじめ」と言い換えることもできます。私は、オリンピックやパラリンピックが世界の人々に一番伝えたいことは、「だれもがいじめ（差別）を受けることなくスポーツを楽しむことができる」ということであり、オリンピック・パラリンピックの精神とは、「人権」を大切にすることだと思っています。

子どもたちにもオリンピックやパラリンピックのテレビ観戦を通して、人権意識など多くのことを感じたり学んだりしてほしいと思います。パラリンピックはまだ続いています。選手たちの精一杯のプレイに感動しつつ、もうしばらくテレビ観戦を楽しみたいと思います。